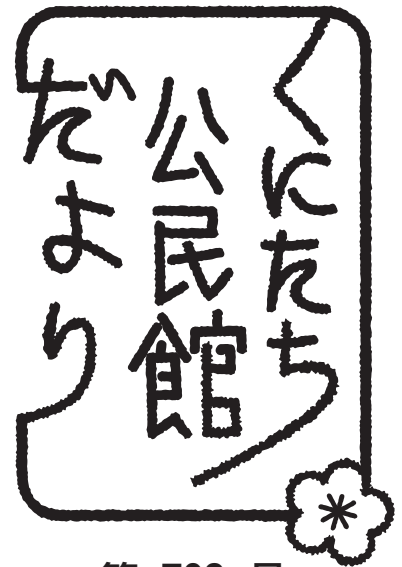




若者たちが、“わいわい、がやがや”集う場所

「コーヒーハウス」へようこそ!!

～「しょうがいしゃ青年教室」活動スタッフ募集～



第 703 号

2018年 9月 5日
(平成30年)



公民館の1階のロビーへ向かう階段を下りると、ふわりとコーヒーの香りが漂ってきます。ハンドドリップコーヒーが自慢の喫茶コーナー「わいがや」その奥の「青年室」という部屋は、10代後半から30代くらいの若者たちが集う場所です。ここは、しょうがいのある方も含めたいろいろな人たちが、コーヒーを飲んだり、おしゃべりしたり、わいわい、がやがや、活動をする拠点として「コーヒーハウス」と呼ばれています。人生という長い航海の途中には、風いだり、嵐がきたり、と様々なことが起こります。そんなとき、ちょっと憩えたり、いつもと違った出会いが見つかる「港」があるといい。家でもなく学校でも職場でもない、自分のための第三の「居場所」……。 「コーヒーハウス」は、そんな場所です。

今回は、しょうがいしゃ青年教室をはじめとする「コーヒーハウス」に参加している2人に、活動に関わるなかで得られた発見やその魅力について書いてもらいました。

「わいわい、がやがや」の、先にあるもの、

—身体のリズムをずらしていくこと、感情と弱さをさらけ出すこと—

すえみつ 末光 翔



それは確か、今年度初めにしょうがいしゃ青年教室（しょう青）メンバーが集まって行った花見の日のことでした。花見といっても、公民館の一室を借り、お菓子や食べ物を大きなひとつのテーブルに並べ、しょう青メンバーとスタッフで今年度の抱負を語りながら、楽しく団欒する、といった具合の会です。なかには手作りのお菓子を持ってきてくれる方もいて、それでみんなで盛り上がったたり。ジャグリングを披露するスタッフも現れ、やんややんや、喝采が起こったり。わいわい、がやがや、と。



〔お花見〕ジャグリングに挑戦
(右が末光さん)

「前の職場でね、ほかの人に悪口を言われてね。それが…」そう言いながら、テルテルさんは泣き出してしまいました。テルテルさんにとってそのことは、ずっと誰にも言えずに我慢してきたことのようにした。

今月の公民館 (9月、10月初)

*印は参加自由、他は事前申込みが必要です。

- 13日(木) 夜 くにとちブッククラブ 徳田秋声『あらくれ』
- 27日(木) 夜～作家と作品 一井上ひさしを観る～
- 28日(金) 夜 公民館・NHK学園高等学校共催 ～子ども・若者の育ちを支える連続講座～
- 28日(金) 夜*図書室のつどい 「通じない日本語」
- 30日(日) 朝 親子で遊ぼう・考えよう 忍者になって修行あそび!
- 30日(日) 昼* CINEVOX 公民館映画会 『街の灯』
- 30日(日) 昼～院生講座 「上海モダニズム作家たちの葛藤」
- 10月5日(金) 昼*公民館・NHK学園高等学校共催 オペラは楽しい!

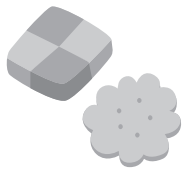
※上記QRコードを読み取って、公民館だよりをご覧いただけます。通勤通学時などにご利用ください。

そのままテルテルさんは泣きながら、花見の部屋を出て行ってしまいました。公民館の職員さんが心配しながらその後を追いかけてきます。ぽくも部屋を出て後を追いかけると、公民館の廊下にテルテルさんと職員さんが立っています。テルテルさんはなかなか泣き止まない様子で、職員さんが「どうしたの？」と優しく声をかけています。ぽくはその様子を見て、なぜかひどく動揺してしまっていました。

* * *

だって、自分よりずっと年上の男性が、人前で泣き顔を見せるなんて、普段の生活ではありえないですよ？「人前で弱音を吐くべきではない」「人前で泣き顔を見せるべきではない」といった、私たちが半ば無意識に守っている身体のルールは……でも、そういう青という空間では、もしかしたら気にしなくてもいいことなのかもしれません。

おそらくテルテルさんも、公民館やしよう青以外の空間では、他人にこのような姿を見せていないと思います。(泣き顔を見せるこ



とは本来、他人に弱さをさらしてしまう行為であり、信用した相手にしか見せられないものだと思うので……)むしろ国立市公民館の、しよう青という空間だからこそ、テルテルさんは安心して自分の辛い経験を私たちに語り、泣くことができたのではないのでしょうか。

* * *



〔夏企画〕バーベキュー!!

しよう青のメンバー、知的な感じがいのあるメンバーは、私たちが持つ身体のルールをどんどんずらしていきます。会話のタイミング、トーン、立ち振る舞い、そして感情の表出のしかた、などなど。メンバーそれぞれ異なります。それに対して戸惑ってしまうこともありますが、基本的にはそれらのちがいやズレもひっくり返して楽しむ空間として、「わいわい、がやがや」がしよう青の基本的な姿勢。身体のルールがずらされまくって、細かい「こつすべき」「あ

あしなきやいけない」がほぐれていく感覚が心地いいです。そして「わいわい、がやがや」を基盤として、テルテルさんがしよう青という空間だからこそ自分の辛さを打ち明けたような、特別な何かがしよう青にはあるような、そんな気がしています。



ちょっと自分が 変わる場所

和田 萌花



私は「コーヒーハウス」に関わり始めて約2年になる。きっかけは大学での講義だった。そこで私は「喫茶わいがや」の存在を知った。ハンドドリッパーコーヒーを淹れることに漠然と興味が出た私は



わいがやのカウンターでコーヒーを (和田さん)

スタッフとして関わるようになる。最初は「喫茶わいがや」にだけ関わっていたが徐々に関わりは広がり、今ではしようがいしゃ青年教室や「コーヒーハウス」全体の行事に参加するようになった。

「喫茶わいがや」はしようがいをもった方を実習生として受け入れ共に運営している。そこにはしようがいの有無に関わらず、様々な人が集う。それぞれのできごと、できないことをカバーし合いながらお店を開ける。そこには他の喫茶店にはない穏やかな時間が流れていると私は感じている。この時間は私にとってホッとする時間だ。また実習生とお客様と、スタッフと、他愛のない話をしたり、くだらないことで笑いあったり……様々な人と関わることで私の価値観や視野が広がったように思う。

こうした経験を少しずつ積んでいくうちに、元々人見知りな消極的な自分だったが「いろいろな人と関わるのが楽しい」と思えるようになった。いろいろな人との関わりが私を少し変えてくれた。

細く長く活動を続けている私だが、「コーヒーハウス」はいつも私を温かく迎えてくれる。私はこれが「コーヒーハウス」の最大の魅力だと思っている。スタッフやメンバーに会えば、「〇〇さん、

こんにちは！」「久しぶり！」といった挨拶が生まれ、自然と会話が行き交う。一見当たり前のように思えることだが、その一言がもつ力は大きいと思っている。温かい挨拶があるだけで、そこに自分の居場所があると、なぜか自然と感じることが出来る。みんなが自分という存在を認め、受け入れてくれているという実感がわく。家庭でも学校でもなく職場でもない、第三の居場所がそこにある。そこは私にとって自由で安心できる場所であった。そして私もそんな温かい存在の一人になりたいと思うようになった。

日常生活にちょっと疲れてしまったとき、「コーヒーハウス」はいつでもあなたを温かく迎えてくれる。そしてこの場所で出会う人々は、今までのあなたをちょっと変えてくれるかもしれない。反対にあなたは誰かを変えることができるかもしれない。「コーヒーハウス」は互いに自然と良い影響を与えあえる存在になれる場所だと思っ

少しでも気になった方はぜひ一度足を運んでみてほしい。



公民館×若者＝「おもしろい！」

「しょうがいしゃ青年教室」・「喫茶わいがや」 一緒に活動してくれるスタッフ大募集中

以下のコースなどに分かれ、しょうがいのあるなしを超えて学びあい楽しみあうことを目指して活動しています。スタッフは、活動の企画・運営を協力しながら行います。月1回からでも、未経験でも大丈夫！まずはお気軽にお問合せください。



＜9月以降の主な活動予定＞

料理 さまざまな料理をこだわって作ります。

9月15日(土)夕5時半～
「ロコモコ」

【料理コース】
彩りよく盛り付け！

クラフト オリジナルのアートや工作を作ります。

9月22日(土)夕5時半～
「押し花でしおりをつくろう」

Y Y W 参加者みんなで企画を相談し、実践します。

9月30日(日)昼2時～
「チャーハンパーティー」

スポーツ さまざまなスポーツにチャレンジします。

10月7日(日)「ソフトボール」

喫茶実習 「喫茶わいがや」でコーヒーを淹れたりします。市民団体の運営で休館日以外の12時～18時に開店します。

*9月以降も毎月活動します。クリスマス会などイベントもあります。

申込・問合せ先 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

✉ sec_kominkan@city.kunitachi.lg.jp



【スポーツコース】
白熱のソフトボール



メールの
QRコードだよ



上海モダニズム作家たちの葛藤

講師 柏木 万里 (一橋大学大学院生*)

1930年代の上海に生きた二人の男、施蛰存、杜衡。二人は中学からの同級生。ともに文学を好み、仲間たちと文芸誌をいくつも立ち上げました。しかし当時の上海は、戦争真ただ中。1932年1月には、第一次上海事変が発生し、戦場と化した上海で、ほとんどの雑誌は停刊となります。

出版社の現代書局は、再建をかけ、施蛰存に大型商業雑誌『現代』の編集を依頼します。要求されたのは政治的「中間路線」。施蛰存は、杜衡に編集の協力を要請します。しかし、政治と文学の間、「中間路線」は容易ではありません。

前半は、施蛰存、杜衡らが評される「上海モダニズム文学」を、他の都市の作品と比較しつつ解説します。後半は、杜衡が『現代』誌上で起こした「第三種人論争」と、彼の創作を追い、杜衡が文壇に与えたものは何か、考えます。

とき 9月30日、10月14日(全2回)
いずれも日曜日、昼2時～4時

ところ 公民館 3階講座室

定員 25名(申込先着順)

申込先 9月7日(金)朝9時～
公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

*一橋大学大学院生による講座

国立市内の一橋大学では、研究者を目指す大学院生が日夜研究に励んでいます。そこで公民館が架け橋となり、若手研究者と地域社会との交流講座を続けてきました。最新の研究動向に触れるもよし！ 修行中の院生にアドバイスするもよし！ 院生が講師となって専門分野をご紹介します。

〈くにたちブッククラブ 幻影を追う、記憶をたどる〉

徳田秋声『あらくれ』

(講談社文芸文庫)

講師 大木 志門 (山梨大学・日本近代文学)

とき 9月13日(木)夜7時半～9時半

ところ 公民館 3階講座室

申込先 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

*この講座はあらかじめ作品を読んできて、参加者が読み出しあいます。そのあと講師のお話を聞きます。

〈図書室のつどい〉

通じない日本語

—世代差・地域差からみる言葉の不思議—

お話し 窪蘭 晴夫 (国立国語研究所)

地域や世代によって日本語の使い方がかなり異なっている中で、相手の言葉が正しく理解できない、自分の言葉が相手にしっかり通じないといった経験をしたことがある人も多いかと思います。日本語は実は多言語社会であると窪蘭さんはおっしゃっています。世代差と地域差の二つの要因から、コミュニケーションにどのような誤解や摩擦が生じるかを、多くの実話を通してお話を伺います。

〈窪蘭さんの本〉表題作(平凡社)のほか、『オノマトペの謎』『数字とことばの不思議な話』(岩波書店)ほか多数。

とき 9月28日(金)夜7時～9時

ところ 公民館 3階講座室

定員 30名(当日先着順)

*ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

《作家と作品》
—井上ひさしを観る—

この講座では、作家の生涯と重ねて作品を読むことにより、その作家と作品への理解を深めていきます。

今回は、劇作家として数多くの作品を遺した「井上ひさし」を取り上げます。毎回、映像を交えながら、初期の頃から晩年までの演劇的な仕事の全貌を見渡してみたいと思います。

「戯曲を読んだことがない」という方も、この機会に読んでみませんか。

講師 嶋田 直哉 (明治大学・日本近代文学)

- ①9月27日(木)『父と暮せば』
- ②10月25日(木)『ムサシ』
- ③11月29日(木)井上ひさし初期作品を観る
- *①②で取り上げる作品を、事前に読んできてください。
- ③は資料を用意します。



時間 夜7時～9時(全3回)
 ところ 公民館 3階講座室
 定員 各回27名(申込先着順)
 申込先 9月7日(金)朝9時～
 公民館☎(572)5141

〈公民館・NHK学園高等学校共催〉
オペラは楽しい!

一般的に「オペラ」と聞くと、華やかな舞台や衣装、オーケストラが奏でる名曲、プリマドンナの美声、それらが織りなす愛憎と陰謀が渦巻く物語……といったイメージがある一方で、ちょっと取っつきにくい、難しい、敷居が高いなどといった印象を持つ方も多いと思います。



今回は、そうしたイメージを払拭すべく日本を代表するオペラ歌手の天羽明恵さんに、名場面の実演に加え、オペラにまつわる裏話、歌い手の努力など軽妙なおしゃべりを交えて、オペラの魅力を伝えてもらいます。

これまでオペラに馴染みがなかった方も、秋が深まっていくこの季節に、オペラの世界に浸ってみませんか。

出演 ^{あもう}天羽明恵(オペラ歌手)ほか
 曲目 ヴェルディ:「椿姫」より“さようなら、過ぎし日々よ”、プッチーニ:「トゥーランドット」より“リユーのアリア”など

とき 10月5日(金) 昼2時～3時半(開場1時半)
 ところ 市民芸術小ホール(ホール)
 定員 150名(当日先着順)

*ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。
 *NHK学園高等学校の「N学特別講座」を兼ねており、N学の生徒・関係者と一緒の鑑賞となります。

《親子で遊ぼう・考えよう》
忍者になって修行あそび!

Tシャツを使って忍者に変身して、修行あそび(運動あそび)を行います。新聞紙チャンバラ、隠れみのダルマさんが転んだ、クモの巣くぐりなど、楽しく体を動かしましょう!マグネット手裏剣を作ったり、工作も楽しめます。

講師 山田 修平
 (NPO法人東京学芸大こども未来研究所)

とき 9月30日(日)朝10時～12時
 ところ 公民館 地下ホール
 持ち物 変装用の半袖Tシャツ、飲み物、ハンドタオル、汚れてもよい服装
 対象 子ども(3歳以上～小学生低学年)と保護者
 定員 15組(申込先着順)
 申込先 9月6日(木)朝9時～
 公民館☎(572)5141



*この講座は、さまざまな遊びを通して子どもとふれあい、他の親子や異年齢の子どもたちとの交流を通して、大人として、保護者としてすべきことは何かを感じ取り、考えていく機会となるよう実施しています。

シネボックス
 〈CINEVOX 公民館映画会〉
『街の灯』
 CITY LIGHTS
 □ アメリカ □ 1931年 □ 白黒 □ 89分 □ ※16ミリ版 □

製作・監督・脚本・音楽 チャールズ・チャップリン
 出演 チャールズ・チャップリン、バージニア・チェリル、ハリー・マイヤーズほか

世界の喜劇王チャップリンの数ある名作の中でも、特に美しく、愛に溢れた、代表作の1本。



街角で出会った盲目の花売り娘の目を治すお金を稼ごうと奮闘する我が放浪紳士チャーリー。ひよんなことから酔っぱらいの百万長者の男と仲良くなったチャーリーは、彼から大金を貰い、その金を娘の手術代とすることが出来たのだが……

チャーリーと花売り娘が再会するラストシーンは映画史上最高といっても過言ではない美しさ。

とき 9月30日(日) 昼2時～(開場1時)
 ところ 公民館 地下ホール 定員 85名(当日先着順)
 *ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

〈社会体育事業〉

「街を・山を歩く」第2回

日時 10月11日(木) <雨天中止>
集合 国立駅北口 朝9時
実施方面 月島、晴海方面
 (距離:約10キロ 高低差なし)
対象 市内在住、在勤者
 *行程はウォーキング初心者向けです。
チラシ 9月12日(水)から、市役所3階生涯学習課、市民総合体育館、公民館、北・南市民プラザ、国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザで配布します。
申込方法 チラシの内容(日程、コース、申込方法等)を確認のうえ、9月13日(木)から28日(金)の期間に下記までお申し込みください。
申込・問合せ先 教育委員会 生涯学習課
 社会体育担当
 ☎(576) 2107 (直通)

国立市公民館・NHK学園高等学校共催
～子ども・若者の育ちを支える連続講座～

第2回 国立市の子ども・若者を取り巻く現状環境を知る

司会 高野 宏 (地域コーディネーター)
パネリスト 芥川 美子 (西児童館)
 岩淵 早秋 (NHK学園高等学校)
 小野 円 (リング・リンクくにたち)
 唐澤 健太 (国立のぞみ教会)
 佐藤 和之 (くにきたべーす)
アドバイザー 青山 鉄兵 (文教大学)
 国立市の子ども・若者の現状と環境を座談会形式でお話しいただきます。初参加の方もお気軽にお越しください。
とき 9月28日(金)夜7時～9時
ところ NHK学園高等学校 2階音楽室
 (国立市富士見台2-36-2)
定員 50名
申込先 9月7日(金)朝9時～
 公民館 ☎(572) 5141

公民館運営審議会報告

8月14日(火) 第22回定例会を開催。委員12名、館長、職員2名出席。傍聴者4名。
前回議事録確認

報告事項

○公民館だより編集研究委員会
 QRコードにより、紙媒体がなくても見る事ができ好評等の意見があった。

○社会教育委員の会

生涯学習振興・推進計画骨子案の内容修正と素案作成の依頼を行った。次回、庁内検討委員会に提出予定。

○東京都公民館連絡協議会

9月1日に第1回研修会を町田市で開催。事例発表選出の事例推薦依頼があり、5事例を推薦予定。

○社会教育学習会

8月9日、東京大学牧野篤教授をお招きし学習会を行った。20名の市民参加があり盛況であった。

○その他

第40回全国公民館研究会東京大会のお知らせ。

協議事項

○「ふりかえる会」
 各グループの討論のまとめを報告し、共通項目について話し合われた。報告書のまとめ方と作成スケジュールを確認した。

○公民館だより700号記念記事への抗議・意見について
 真摯に受け止め社会教育の本質をしつかり守り、今後も運営していくことを確認した。

次回定例会は9月11日(火)夜7時15分から。傍聴歓迎。(古旗)

ひろば

(6ページにもあります)



国立水泳会 会員募集

まだまだ暑い夏が続いています。生涯スポーツとして水泳を始めませんか。泳力別に公認コーチが親切に指導します。初心者歓迎男女不問。体験にどうぞ。
日時 毎週火曜日 夜7時～8時
場所 総合体育館 室内プール
連絡先 松尾090(8858) 6978

水彩画描きませんか 会員募集

水彩画を楽しくのびのびと描くことをモットーに活動しているサークル「くにたち水彩の会」です。年一回作品展開催。一緒に水彩画を描いてみませんか。見学歓迎。
日時 第1、3木曜日朝9時半～
場所 芸小ホール アトリエ
連絡先 横井(572) 7752

俳句を楽しむ 郷土俳句会

少人数のグループですが岡山祐子先生指導で前向きに明るく楽しくゆつくりと進行します。年少組、年長組いっしょに奥深き俳句道を探検してみませんか。歓迎します。
日時 毎月第2月曜日 昼1時～
場所 郷土文化館 第一研修室
連絡先 石川(575) 3285

フラダンスを楽しみませんか

フラダンスの明るく軽快な曲ゆつたりと流れる音楽にあわせてのびのびと踊っています。一緒にハワイの気分を楽しみませんか？見学も大歓迎です。ハニーフラ
日時 毎週火(第5除く)昼1時～
場所 矢川集会所
連絡先 佐藤080(133) 7813

くにたち吹矢35 会員募集

最近話題の呼吸法を使って、健康と生涯スポーツを実現してみませんか？答えは健康スポーツ吹矢です。見学お待ちしています。
日時 毎週火曜日 夜6時～、第1、第3木曜日 昼12時～
場所 総合体育館 3階
連絡先 坂井090(249) 9175

国立市ターゲットバードゴルフ

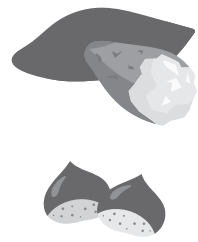
ゴルフ好きの貴男女、手軽に近くで18ラウンドをお安くプレイしてみませんか？ターゲットバードゴルフで実現です。お気軽にお越し下さい。
日時 毎週木曜日 昼12時～
場所 谷保第三公園
連絡先 岡田090(171) 0791

数学を楽しみむ教室(9月期)

第一部は一般の方、第二部は中高生が対象です。手も動かし、関心がなかった方にも数学はこんなに楽しく身近なんだと感じていただきます。気軽にお越し下さい。
日時 9月8・22日(土) 昼1時～
場所 公民館 小集会室
連絡先 三浦070(5084) 8571

ひろば

(5ページにもあります)



親子で異文化交流

留学生親子の子育て相談にのったり、情報交換、交流しましょう。外国語ができなくても大丈夫。積極的に交流したい方大歓迎。

予約 maholamp@gmail.com

日時 9月11日(火) 昼2時半～

場所 一橋大学構内

連絡先 まほうのランプ

ダンスパーティー鹿鳴会へお誘い

本会は社交ダンスを通して健康寿命の増進と親睦、元気に楽しくをモットーにしています。国立の皆様気軽にいらして下さいませ。スタッフ一同お待ちしております。

日時 9月12日、29日、10月3日

場所 福祉会館 4階ホール

連絡先 細田(576) 1367

太陽と昴の会 おしゃべり会

市内の発達障害のお子さんを育てているお母さん同士で集まり、情報交換や悩み事の相談など、楽しくおしゃべりをしています。診断を受けていない方の参加も可。

日時 9月14日(金) 朝10時～12時

場所 市内の公民館など

連絡先 鈴木080(344) 6395

くにたち女声合唱団演奏会

第19回演奏会を行います。ロマン派の時代を中心に、イタリア、ドイツ、イギリスを巡り、ウインナーワルツでフィナーレというプログラムになっております。

日時 9月14日(金) 昼2時～(無料)

場所 小金井宮地楽器ホール

連絡先 前田(525) 4477

第2回条例を活かす会

女性と男性及び多様な性の平等参画を推進する条例を活かすために市で取り組んでほしいことを一回目にまとめ市に提出しました。その内容について話し合います。

日時 9月16日(日) 夕5時半～

場所 公民館 講座室

連絡先 jikka(511) 5812

風の子まつり

段ボール迷路、音のなる木、電車ごっこ、おえかき実験、バザー。風の子の園児と一緒に遊ぼう！

9月20日のみゲストライブ有り

雨天延期10月11日(木)

日時 9月20日(木) 朝10時～1時

場所 国立富士見台団地幼児教室

連絡先 風の子(576) 4898

くにたち国際友好会WING

9月度の国際理解講座はアイセックのメンバーとしてインターンシップで留学した一橋大学生松井美樹さんにスリランカの文化や留学科験等報告して頂きます。

日時 9月20日(木) 夜7時～9時

場所 公民館 講座室

連絡先 和田090(397) 2110

マトリョーシカの会コンサート

ゲストは歌手のエカテリーナさんです。ゲストの演奏のほかにも参加者全員でロシア民謡やロシアの歌を歌います。見やすいカナ付きの楽譜もあります。資料代500円

日時 9月23日(日) 昼3時～4時半

場所 公民館 地下ホール

連絡先 大貫(572) 5214

あずま袋作り かいゆう主催

買い物バッグ、お弁当入れ等に使える便利でかわいい袋をてぬぐいで縫いで作ります。参加費500円。要電話予約。てぬぐい又は縦30cm×横90cmの布、裁縫道具を持参。

日時 9月29日(土) 昼2時～3時

場所 たまりば(宙谷保駅歩1分)

連絡先 たまりば(宙谷保) 0443

ゲートボール初心者教室 無料

軽く振ったステックでボールがはずむ。ゲート通過で打てる。運動靴で、ご参加下さい。

主催 国立市ゲートボール連盟

日時 10月4日(木)～11月4日(日) 週2回木・日曜日 朝10時

場所 矢川上公園ゲートボール場

連絡先 鈴木090(1102) 3695

くにたち市民オーケストラ 第40回定期演奏会

ウエーバー歌劇「オペロン」序曲、ムソルグスキー組曲「展覧会の絵」、ベートーヴェン交響曲第6番「田園」。指揮神宮章。高校生以下無料

日時 10月8日(月) 祝 昼2時開演

場所 府中の森芸術劇場どりーむ

連絡先 事務局080(545) 9292

〈サークル訪問324〉 ひらやの里

照りつける日差しの中、庭木・縁側・障子のある平屋がどこか懐かしさを感じさせる。周囲の建物とのコントラストがよりその思いを強くさせるのかもしれない。

故吉川照子さんの遺言により

「老人福祉の目的で利用」、「建物や樹木を可能な限り現状のまま使用する」等を条件に、市へ寄贈された建物を運営する団体が2017年4月に公募された。「多世代の交流によるくつろげる居場所」などを提案し「ひらやの里」が選出された。建物名称は「ひらや照らす」と公募で決定した。

代表の大井さんによれば、「もともと蓄積されていた地縁、人縁が活動に活かされているユニークな団体」とのこと。ひらやの里は国立市内で活動するいくつもの団体が協力する形で成立したのである。

設立当初から参加する三好さんは、「単独の団体ではなく、協力してやろうという気運を素晴らしいと感じる。国立の市民力の高さを感じた」と熱く語った。

様々な利用者を受け入れるために、スタッフ同士コミュニケーションを取りあうことが運営にとって重要であった。自由な議論で計

画・行動をきめる。議論後に参加者同士が交わす交流の時間はスタッフの憩いの場ともなっている。

取材時には「メモリーカフェ」が実施されており、20代から90代までの約15名が参加。その日のテーマ「旅」の思い出を楽しく語り合っていた。その時代ごとの流行などにも話は広がり、笑いあふれる終始和やかな雰囲気であった。

認知症の方を含む地域の誰もが参加できる場を目指しているとのことである。

そのほか乳幼児と親の「わらべうた」、元シェフの料理教室等15を数えるイベントを用意している。ひらやの里のメンバーとなって一緒に活動しませんか？

日時 木・土曜日 朝10時
場所 ひらや照らす
連絡先 大井090(699) 8984

〈文・写真 川田 幸生〉



どこか懐かしい「ひらや照らす」